

《文しょうもんだい 10》

文しょうもんだいをやってみよう。答えを文しょうの中からみつけよう。

【れいだい】

つぎの文しょうを読んで、といに答えよう。

月曜日から日曜日までのことを、一週間といいます。みなさんは、なぜこの七日間を一週間とするようになったのか、考えたことがあるでしょうか。このことには、月がかんけいしているもの、星がかんけいしているもの、二つの考えがあります。

月は、毎日少しずつ形がかわります。たとえば、まんまるい月は右がわがかけた半月にかかります。そのまんまるい月が半月にかわるのに、七日間かかるようになってくるのです。ですから、その七日間をきじゅんにして一週間にしたと考えられているのです。

星には、火星・水星・木星・金星・土星とよばれるうごく星があります。むかしは、この星たちと太陽、そして月が、一日交たいで地上をまもっていると考えられていました。そこで、この星たちの名

前から一週間が生まれたという考えもあるのです。

(とい) 文しょうのないようにあてはまるものを、アからウからえらぼう。

ア 一週間が七日間なのは、月がかんけいしているという考えで、星がかんけいしているという考えではありません。

イ まんまるい月が半月にかわるように、月は毎日少しずつ形がかわります。

ウ 星には、火星・水星・木星・金星・土星とよばれるうごく星があつて、太ようのまわりを一日交たいでまわっています。

【こたえ】イ

【かいせつ】

アは「星がかんけいしているという考えはありません」というところが、文しょうの「星がかんけいしているというものの二つの考えがあります」とちがうので、まちがいになります。ウは、「太ようのまわりを一日交たいでまわっています」というところが、文しょうの「一日交たいで地上をまもっている」とちがうので、まちがいになります。

つぎの文しょうを読んで、とくに答えよう。

四つばのクローバーを見つけると、しあわせになれるという言い伝えがあります。クローバーのべつの名前を「シロツメクサ」と言います。

この「シロツメクサ」は、むかしは外国からどうぐを買ってもってくるときに、はこのにもつがこわれないよう、すき間につめるのにつかわれたそうです。
 「白いつめ草」という名前がつけられ、「シロツメクサ」と今でもよばれるようになったということですよ。

ちなみに、四つばだけではなく、それいじょうのはっぱがついたクローバーも、ラッキーなしるしだと言われています。五つばはお金、六つばはよい地いが手に入れられるしるし。七つばは、こまったときにたすかるしるしだと言われています。

(1) □に入ることを、アからウからえらぼう。

ア でも イ ところで
 ウ ですから

(2) シロツメクサは、むかしどんなことにつかわれていましたか。□に入ることを書こう。

はこのにもつが

に

につかわれた

(3) 七つばは、どんなしるしだと言われていますか。文しょうの中からみつけて書こう。

に

しるし

つぎの文しょうをよんで、といにこたえよう。

わたしは、その場でじつとたちどまってこまっ
てしまいました。子ねこをつれて帰りたいけれど、
うちはマンションなので、ペットはかえないとお
かあさんに言われているのです。ダンボールの中
の子ねこは、さむさにふるえていました。小さく
てまっ白な子ねこは、おなかがすいているみた
いで、

「みゃー。」

と元気のない声でなきました。

その声に、わたしはかくごをきめました。こっ
そり子ねこをつれて帰って、自分のへやで子ねこ
をかうことにしたのです。

(1) わたしがこまってしまったのは、どうしてで
すか。□に入ることを書く。

けれど、うちはマンションなので、

とおかあさんに言われているから

(2) 子ねこはどんな声でなきましたか。文しょう
の中からみつけて書く。

声

(3) わたしは、どんなかくごをきめましたか。□
に入ることを書く。

を

こっそり

自分のへやで

を

ことにした



つぎの文しょうを読んで、とくに答えよう。

四つばのクローバーを見つけると、しあわせになれるという言い伝えがあります。四つばだけではなく、それいじょうのはっぱがついたクローバーも、ラッキーなしるしだと言われています。五つばはお金、六つばはよい地いが手に入れられるしるし。七つばは、こまったときにたすかるしるしだと言われています。

これらのクローバーのべつの名前を「シロツメクサ」と言います。

この「シロツメクサ」は、むかしは外国からどろぐを買ってもつてくるときに、はこのにもつがかわれないよう、すき間につめるのにつかわれたそうです。ですから、「白いつめ草」という名前がつけられ、と今でもよばれるようになったという事です。

(1) 六つばは、どんなしるしだと言われていますか。文しょうの中からみつけて書こう。

しるし

(2) シロツメクサは、むかしどんなことにつかわれていましたか。□に入ることばを書こう。

はこのにもつが

、

に

につかわれた

(3) □に入ることばを、文しょうの中からみつけて六字で書こう。



つぎの文しょうを読んで、といに答えよう。

ダンボールの中の子ねこは、さむさにふるえていました。小さくてまっ白な子ねこは、おながすいているみたいで、

「みゃー。」

と元気のない声でなきました。わたしには「おうちにつれていって」と言っているように聞こえます。

わたしは、その場でじっと立ち止まって

しまいました。子ねこをつれて帰りたいけれど、

うちはマンションなので、ペットはかえないとおかあさんに言われているのです。

しばらくまよったわたしは、かくごをきめました。こっそり子ねこをつれて帰って、自分のへやで子ねこをかうことにしたのです。

(1) わたしには、子ねこのなき声は何と聞こえるように聞こえましたか。文しょうの中からみつけて書こう。

と言っている

(2) □に入ることばを、アからウからえらぼう。

ア うれしくなって
イ おどろいて
ウ こまって

(3) わたしは、どんなかくごをきめましたか。□に入ることばを書こう。

こっそり

を

自分のへやで

を

ことにした



つぎの文しょうをよんで、といにこたえよう。

きようはうんどうかいだ。ぼくはきようのために、
にがてなスタートダッシュを、たくさんれんしゅ
うしてきた。だから、ぼくはきようのうんどう会
を①。かけっこで一番になつて、おとうさん
にかっこいいところを見せようと思つていたのだ。
それなのに朝になつて、おとうさんがきゆうな
しごとでうんどう会に行けなくなつたと言ひ出し
た。ぼくは、あんなにワクワクしていた気もちが、
きゆうになくなつてしまつた。
なんだか、やる気がないな。そう思ひながら、
スタートラインについた。かけっこは、もうぼく
の番になつていた。その時、

「けんた！ がんばれ。」

と聞いたことのある声があした。おとうさんだ。ぼ
くは②、おとうさんのためにも一番になるし
かないな、そう思つてスタートをきつた。

(1) ①に入ることばを、アからウからえらぼう。

- ア 休みたい気もちだつた
イ 楽しみにしてきた

ウ がまんする気もちだつた

(2) ぼくがやる気がないなと思つたのは、どうし
てですか。□に入ることばを書こう。

かけっこで一番になつて、おとうさんにかっこ
いいところを見せようと思つていたのに、

になつて、おとうさんがきゆうな

で

と言ひ出したから

(3) ②に入ることばを、アからウからえらぼう。

- ア うれしくなつて
イ かなしくなつて
ウ はらがたつて



つぎの文しょうを読んで、とくに答えよう。

朝^{あさ}ごはんを食べていると、おとうさんがきゅうなしごとでうんどう会に行^いけなくなったと言^いい出した。

きょうはうんどう会^{かい}だ。ぼくはきょうのために、にがてなスタートダッシュをたくさんれんしゅうしてきた。だから、ぼくはきょうのうんどう会を楽し^{たの}みにしてきた。かけっこで一番^{ばん}になって、おとうさんにかっこいいところを見せようと思^{おも}っていたのだ。

ぼくは、ワクワクしていた気もちがきゅうになくなってしまった。

①。そう思いながら、スタートラインについた。かけっこは、もうぼくの番^{ばん}になっていた。その時^{とき}、

「けんた! がんばれ。」

と聞いたことのある声^{こえ}がした。おとうさんだ。ぼくは②。やっぱりおとうさんは来^きてくれたんだ。ぼくは、とびあがるような気もちでスタートダッシュをした。

(1) ぼくがうんどう会を楽しみにしていたのは、なぜですか。□に入ることばを書^かこう。

かけっこで

おとうさんに

から

を

、

(2) ①に入ることばを、アからウからえらぼう。

ア なんだかやる気がないな

イ おとうさんがいないからやる気が出るな

ウ 一番がとれるかな

(3) ②に入ることばを、アからウからえらぼう。

ア はらがたった

イ うれしくなった

ウ かなしくなった



1. 以下のグラフをみて、おもしろいところや、よくよく考えてみるべきところを、それぞれ2つ以上を挙げてみる。

ナ



- ★1 いれかわるこ。かわりあうこ。
- ★2 きれいな ひまわりが 〇〇。
- ★3 おかあさんの こ。
- ★4 コウや ぼくにを すう そらに つから
でんかせいひん。
- ★5 おおくの ひどが あつまる かい。
きそいあうこ。
- ★6 ハスの はな。または、ライスを たぐるうきに
ついでる スプーンのうらな しよこお。

☆ 4614616 5844

- ☆1 いぐさを おみこんで できた ゆかき。
わしつで よく みられる。
- ☆2 しよくぞいを ひやして おく はこがたの
でんかせいひん。
- ☆3 バイオリンや ギターに はつてある い。
- ☆4 こどもが おやに かんしやするこい。
なにかを してあげる こい。
- ☆5 くさばなを そだてる はだけ。
- ☆6 たぐられる しよくぞい。

